

# 第6学年 算数科学習指導案

1 単元名 比例と反比例（ともなって変わる2つの量の関係を調べよう）

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1～4	伴って変わる2つの数量の関係を考察し、「比例」用語とその定義、性質を理解する。
2	5～8	yがxに比例するとき、その関係を表や式、グラフに表し、その特徴を調べる。
3	10,11	伴って変わる2つの数量の関係を考察し、「反比例」の用語とその定義、性質を理解する。
4	12～14	yがxに反比例するとき、その関係を表や式、グラフに表し、その特徴を捉える。

(本実践では、学習支援ソフトとして、One Note を活用している。)

3 本時について(10/14)

(1) ねらい

伴って変わる2つの数量の関係を考察し、比例の関係との違いを明らかにしながら規則性に気づき、「反比例」の用語とその定義を理解することができる。

(2) 評価規準

- ・「反比例」の用語とその定義を知り、比例の関係との違いが理解できる。(知識・技能)
- ・伴って変わる2つの量について、比例の関係との違いを明らかにしながら規則性を見いだそうとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1 本時の学習内容に問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     次の④で一方の量が変わると、それにもなって、もう一方の量はどのように変わりますか。                      ④面積が<math>24\text{cm}^2</math>の長方形の横の長さ<math>x\text{cm}</math>と縦の長さ<math>y\text{cm}</math> </div>	【ICT活用の工夫】 ・問題の内容について、デジタル教科書を用いて実際の変化の様子を確認することで問題の理解を深める。
展開	・デジタル教科書をもて、問題内容をつかむ。 ・数量の変化を表にまとめる。 ・表を見て、前時までの問題との違いから、課題につなげる。 2 学習問題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     比例と比べて、どのような変わり方をするのか調べよう。                 </div>	・表に数値を入れられない子には表の一部の数値が書いてあるヒントカードを渡して個別に声をかける。 ・前時までの、比例で学習した時のことを想起できるようにし、本時の問題との違いを考えることで課題につなげる。
	3 課題解決の見通しを立てる。 ・比例を調べたときと同じように、表を「縦の見方」や「横の見方」で見ながら調べていけばよいという見通しを立てる。 4 個人で追究する。 ・表に書き込みながら、自分の考えをまとめていく。 5 全体で話し合い、課題を解決する。 ・「One Note」の「collaboration space」に自分のノートの写真を載せる。 ・全体交流でほかの人の考えと比べながら発表をする。 6 学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     2つの量<math>x</math>と<math>y</math>があって、<math>x</math>の値が2倍、3倍、4倍・・・になると、それにもなって、<math>y</math>の値が<math>\frac{1}{2}</math>倍、<math>\frac{1}{3}</math>倍、<math>\frac{1}{4}</math>倍・・・になるとき<math>y</math>は<math>x</math>に反比例するという。                 </div>	【ICT活用の工夫】 ・タブレット内に、黒板やノートの内容のデータを残しておくことで、前時までの表の見方がすぐに自分で確認ができるようにする。
終末	7 本時の学習を振り返る。 ・練習問題に取り組む。	【ICT活用の工夫】 ・「One Note」の「collaboration space」を活用し、友達の考えを見て、自分の考えを深める。